

# 灯



敗退。結果論だが、中国が1-2で負けていれば、スエマエは決勝トーナメントに進めたはずだ。

ロンドン五輪が終了し、今は宴の後という雰囲気だ。柔道惨敗で始まったがそれ以外の種目は大健闘で、過去最多のメダル数を獲得したのは見事だと思う。マイナー競技だったバドミントンは、「オグシオ」で注目を集め、「スエマエ」の

## 異聞

北京五輪での活躍で人気を高め、今回「フジカキ」の五輪初の後ミ銀メダル獲得で、このドレまでで一番メジャ宴バ



草野 義輔

あった。中国や韓国には嚴重注意はあっても失格まではない、という甘い考えがあったのではないだろうか。世界バドミントン協会の決断は見事だった。

スエマエは絶好調だったが繰り上がりせず、今回は運がなかったようだ。報道では決勝戦

本校卒業生スエマエの末綱聡子選手は五輪連続出場を果たし、今大会でも格上のデンマークに競り勝ち2勝1敗。これで予選突破と

でのスエマエの後輩フジカキへの応援はすさまじかったとのこと。スポーツ本来のすがすがしい印象で、爽やかな余韻に浸っている。

(昭和学園高校理事長・日田市)